



第9話 中学生と県議会を学ぶ

後楽館中学校にはCCという一つの職業を調べて発表する授業があります。キャリア教育として良い授業だと以前から思っていたのですが、今年度入学した息子はなんと県議会議員について調べることに…。10枚のレポートを書くために、息子と一緒に地方自治の本を読みながら四苦八苦。私にとってもよい復習になりました。また、他の県議さんに息子からのアンケートをお願いしたところ、党派を問わず

7名の方が快く応じて、誠実な回答と中学生へのメッセージを届けて下さいました。レポート作成は意外に大変でしたが、息子が関心を持ってくれたことが母として嬉しかったです。



震災の時に5歳だった長男も、お蔭様で中学生になりました

みつマラソンに初出場

イラスト:森シホカ



おおつかあいプロフィール
1974年1月10日生まれ。旭操小学校、操南中学校、岡山朝日高校、岡山大学教育学部卒業。99年より福島県で農業研修。4年間の大工修業の後、自宅を建て、大工として働く。2011年3月福島原発事故により一家で岡山に避難。5月「子ども未来・愛ネットワーク」を立ち上げ、避難移住者のサポートや福島の子どもの達の保養受け入れなどを行う。北区建部町に夫、3人の子とも暮らす。

大塚愛 いっぽ通信

岡山県議会議員
大塚愛 県政レポート[第9号]
発行: 2019年1月(2018年11月議会報告)
最新情報を発信しています
Facebook: みどり岡山
www.facebook.com/greenokayama
大塚愛
www.facebook.com/ohtsuka.ai.3
みどり岡山ホームページ:
http://midori-okayama.org

[事務所]
〒700-0971
岡山市北区野田5-8-11
Tel:086-244-7721
Fax:086-244-7724
e-mail:info@midori-okayama.org
http://midori-okayama.org/
[自宅]
〒709-3122
岡山市北区建部町吉田321
携帯:070-5056-3808
e-mail:ai@midori-okayama.org



大塚愛

県政レポート(2019年1月発行) [第9号]



いっぽ通信

P.02-03 災害・エネルギー・ネオニコ農薬について

P.01 女性議員が増えると、社会の幸福度があがる!?

P.02-03 おもな活動記録から「吉備中央町の通所付添サポート協議会」

P.04 愛ちゃんがゆく! — 県議体験記 — / 日々のうごき(2018年10月~2019年1月)

日々のうごき

2018年10月~
2019年1月

10.13 ふふふ祭り@建部支所



10.14 畜産共進会 @真庭市全農家畜市場

10.15 常任委員会(総務)、ペンギンプロジェクト定例会

10.16 エネルギー@吉備公民館、林ぶどう研究所視察



10.17 総務委員会県外調査 ~18 @埼玉、神奈川

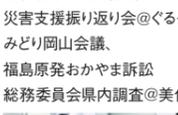
10.20 生き物調査@御津大野

10.21 御津将棋大会@御津公民館

10.22 生物化学研究所視察、災害支援振り返り会@ぐるーん

10.23 みどり岡山会議、福島原発おかも訴訟

10.24 総務委員会県内調査@美作地域



10.26 水彩画展&リサイクルアート展 @天神山文化プラザ

10.27 全国母子寡婦福祉研修大会

10.28 福渡八幡神社秋祭り、講演会@たんぼぼネットワーク

11.1 旭川源流の碑打合せ @建部多自粘神社

11.3 御津公民館まつり&ししまいフェスタ、かげやま感謝祭

11.4 かいばり調査@建部、移動支援研究会@免許センター

11.5 DV防止つなぐ会@市役所

11.6 岡山県工業技術センター100周年記念式典

11.12 看取り士協会訪問、たんぼぼネットワークと県の意見交換



11.13 「福島のいま」おはなし会

11.14 地域おこしプラン@御津五城

11.15 常任委員会(総務)、県生協連合会の懇談会

11.17 福祉まつり@吉備中央町

11.18 建部町文化祭&たけべマルシェ

11.21 常任委員会、代表質問読み合わせ

11.22 県政おはなし会@一宮公民館



11.23 豪雨災害ふりかえりセミナー@北ふれあいセンター、きたながせスープ

11.24 建部中学生だっぴガイダンス

11.25 ふるさと感謝祭@建部

11.26 竹枝保育園役員会

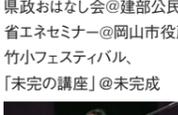
11.27 県政おはなし会@津高公民館、夜間中学校の話し合い

11.28 中学生だっぴ@建部中学校

11.29 11月議会開会、県政おはなし会@建部公民館

11.30 省エネセミナー@岡山市役所

12.1 竹小フェスティバル、「未完の講座」@未完成



12.2 JDS岡山クリスマス会、DV防止全国ネットセミナー、岡山弁大会

12.4 代表質問(高橋徹議員)

12.3~6 質問準備

12.7 一般質問、御津産廃阻止同盟の方と県民局へ

12.8 竹枝保育園発表会、正金猿目荒組合音楽

12.9 御津マラソン出場

12.11~ 一般質問(14日に登壇)

12.15 加茂川ホリデイフォレスト定期例会、SDGs懇談会@くらしのたね



12.16 ブーさん文庫クリスマス会

12.17 特別委員会(教育再生・子ども応援)、VIPクラブXmas会

12.18 常任委員会、みどり岡山会議

12.19 多層指導モデルMIM視察@笠岡

12.20 玉島火力発電所視察@中国電力

12.21 11月議会閉会

12.22 森田卓司市政報告会、夜間中学校市民の会準備会

12.25 三重被災者へ寄付金贈呈 @真備町

12.26 建部駅大掃除@たけべ部



12.27 フードバンクおしゃべり会

12.29 避難者交流会@福島県郡山

1.3 朝日高校ラグビー部OB会

1.4 新春カラオケ大会でフワ@旭水荘

1.6 吉備中央町新春互例会、美女美男の会

1.7 県政報告動画「いっぽプラス」収録

1.8 源流の碑作成@建部小学校

1.11 通所付添サポート協議会定例会

1.13 岡山市出初式、御津西谷総会、建部里山新年会、吉備中央町新年互例会、大道新年会、岡山きょうだいの会

みなさま、こんにちは。昨年
み 年は大きな災害に見舞われた年でしたが、新たな節目を迎える今年、それぞれに明るい希望を紡いでいける年となりますようお祈りいたします。

2016年の補欠選挙から与えていただいた今期の任期もあと数か月となりました。県議会に入った当時はその2年半がはるか遠い道りに思えましたが、日々沢山の出会いと学びを経験して歩ませていただいたことに感謝しています。

故横田えつこさんは「子育てしている女性が議員にならないといけないのよ」と、生前よく話して下さいました。その後、横田さんの遺志を受け継ぎ出馬したものの、3人の子を育てる私にとって、その両立は大きな課題でした。

初めは大きな変化の中で家族や自分に負担が生じることもありましたが、その度に話し合いを重ねて改善し、少しずつバランスが取れるようになってきました。

働き方改革や出生率の向



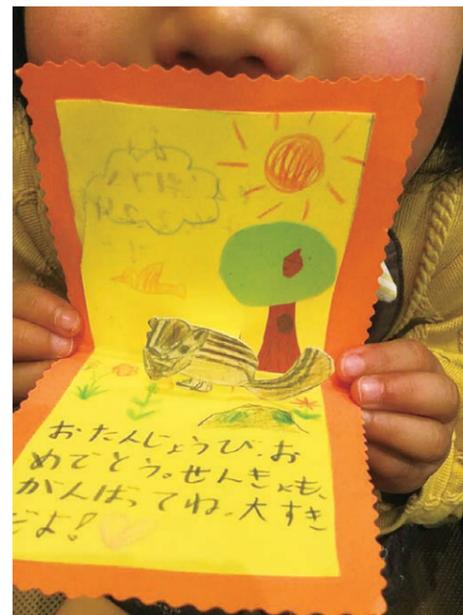
議員としての日々のうごきの中に、いつも横田さんを感じています

男性多数の議会の空気も、昔に比べると子育て中の議員が存在しやすい雰囲気変わってきているように感じますが、今後も女性の視点から見える課題をしっかりと発信していきたいと思

現在の県議会の女性議員

比率は53人中6名で11.3%。日本の女性議員比率は10.1%で、これは経済協力開発機構(OECD)の中では最下位にあたります。

ある研究では、女性議員比率が高い国ほど幸福度が高い傾向があることがわかっ



9歳の長女が手作りカードをプレゼントしてくれました。何より励みになります

ており、男女の格差を是正するためにクオータ制(女性議員を一定数に定める制度)を導入して、社会の幸福度を上げることができればと思います。

注)「女性議員比率と社会の幸福度に関する計量分析」(ひとびとの経済政策研究会)

11月定例会一般質問
(2018年12月11日～14日登壇)

災害・エネルギー・ネオニコ農薬について

自主避難所について

Q. 7月豪雨災害の際には、指定避難所が遠かったり、そこまでの経路が危なかったりして、避難所まで移動できなかった方も多く、また避難所の収容人数が足りていないことも課題となった。現在、自主防災組織などで地域内の集会所等を自主避難所と決めて、まずはそこに避難しようとする動きもある。各地域で決められている自主避難所についても、必要に応じて指定避難

所に加えたり、発災時の状況把握のための連絡や、最寄りの指定避難所からの物資の調達などが必要だが、どうか?

A. 自主避難所は一定のリスク(耐震性など)がある場合も考えられるが、指定避難所までの移動が困難な場合の対応として必要なことであると理解している。日頃から自主避難所を適切に把握し、必

要な場合は指定避難所に加えることや、災害時の連絡体制を確立しておくことなどを、市町村に積極的に働きかけていきたい。



段ボールベッドが入る前の避難所。県職員も応援に入りました

県庁内での振り返りについて

Q. 災害が起こった際には、人命救助や市町村へのリエゾン(連絡員)派遣、物資調達など様々な動きが求められるが、そのような混乱期にあっても適切な判断や臨機応変な行動力を発揮していくためには、それまでに個々の職員が災害現場や研修で積み重ねた経験やノウハウが役立つも

のと考える。県職員が担った業務の振り返りや、将来の災害発生時に災害支援経験を活かした職員の配置ができる仕組みについてどう考えるか?

A. 避難所対応研修で、避難所の支援に携わった職員の振り返りを聞いたり、来年度の人事異動前までに所属職員からそれぞれの

振り返りを報告してもらい、災害対応の経験を共有し、今後に生かしていきたい。また、避難所支援や住家被害認定調査を経験した職員はデータベース化して、災害時に備えていきたい。

県有施設のエネルギー対策について



県庁の議会棟に設置された太陽光発電パネル

Q. 県有施設は省エネ診断を受けているか? また、エネルギーの削減見込みが高い施設を抽出して、施設診断や省エネ対策の検討を行っているかどうか? 県有施設の屋根や敷地、駐車場などに新エネルギーを導入でき

る場所があるか調査してはどうか?

A. 省エネ診断は、県庁舎、工業技術センター、備中県民局、県立高校などで実施し、施設の屋根や敷地の活用は、35施設で太陽光発電を導入しているが、お話の熱利用も含め、各部局に対して必要な情報の提供や助言を行い、今後の取り組みを促していきたい。

政務活動費のホームページ公開

議員1人当たり月35万円の政務活動費の収支報告書を2019年度分からホームページで公開することが決まりました。自民党以外の3党派は、領収書の公開もすべしとしましたが、自民党案の収支報告書のみの公開となりました。県庁議会棟でしか見れない現状からは半歩前進ですが、まだまだ情報公開が必要です。

ネオニコチノイド系農薬について

Q. ネオニコチノイド系農薬は1990年代から使用されている殺虫剤で、農業だけでなくガーデニング、家庭の殺虫剤やペットの蚤取りなどにも広く使われ、国内の使用量は増え続けている。昆虫の神経伝達を阻害し、環境中で分解されにくい残効性があるもので、低濃度であっても発達障がいを引き起こす可能性が指摘されており、欧州食品安全機関は規制を強化すべきと科学的見解を示している。この農薬の県内での使用状況はどうか? また、使用の抑制や人への暴露を防ぐための取り組みは?

A. 県内では年間約350トン(H27年)が流通



出典:『新農薬ネオニコチノイドが脅かすミツバチ・生態系・人間』NPO法人代ダイオキシン・環境ホルモン対策国民会議

し、29年度の空中散布は4512ヘクタールとなっている。また、天敵や防虫ネットの使用で農薬使用を抑制する研究を行ったり、農薬の使用基準の順守や適性使用の徹底を

行っている。

Q. 米の色彩選別機を使うことで、空中散布を減らすこともできると思うが、そのような検討は? また、家庭での使用も注意を促す必要があると思うか?

A. そのような取り組みは把握できていないが、食物防疫協会の研修などでそうした取り組みの話もできればと思う。また、農薬の取締法の改正により再評価制度が設けられたが、このネオニコチノイド系農薬は優先的に再評価をするものになっているようなので、今後の国の動向を注視していきたい。

砂防指定地(御津虎倉)への産廃処分場の許可申請について

Q. 許可申請には利害関係者の承諾書を添付することになっているが、建設地の下流の土砂災害警戒区域の人家などは影響範囲であり、承諾書を得ないま

ま許可しないではいかが?

A. 施設計画を精査したうえで、具体的な利害関係者を特定していきたい。

議員になって7回目の登壇となりました



おもな「活動記録」から

通所付添サポーター協議会の定例会

@吉備中央町ロマン高原かよう総合会館
(2019年1月11日)

町 内5つの地域で高齢者の交流の場を開きながら、自宅からの送迎と付添いを行っておられる付添サポート隊の皆さんの定例会に参加させていただきました。県下で初の試みなのですが、昨年

厚生労働大臣から優良賞として表彰されたこともあり、他県からも注目されています。お年を取って家に閉じこもりがちな生活から、週1回でも家から出かけて、仲間の人達と楽しく過ごせることは、健康と生活の質を高める大事なことです。「いつかは私もお世話になるから」と笑顔で活動されている様子に感動し、このような取り組みがまさに地域の質を上げていると感じます。今後も皆さんが気持ちよく活動を続けていける

よう、町も県もしっかりサポートしていかなければと思います。



高齢者の笑顔をともし通所付添サポーターの皆様